

摂食・嚥下委員会

委員長 細見直永

代表 尾知美穂・竹村美栄 副委員長 井上浩明

活動内容

摂食嚥下に対する知識・技術の理解が深まり、個別の状態に応じた安全なケアが提供できること、また誤嚥・窒息予防対策の実施ができることを目標に委員会活動を行っています。

毎月第4火曜日を委員会活動日とし、定例会議を実施しています。定例会議はコアメンバーで会議を開催し、各委員に議事録で報告を行っています。委員会のコアメンバー参加率については70%でした。

具体的活動は、①各病棟の担当委員が毎月の活動内容・振り返りを紙面で報告②年4回のロリハ認定講座の開催③前・後期に分けて毎月病棟ラウンドを実施④もぐもぐごっくん通信の配信、⑤マニュアルの一部改訂を実施しました。

①「各委員が毎月の活動内容・振り返りを紙面で報告」では、共有デバイスにて摂食嚥下委員会の全委員で情報共有を行い、PDCAサイクルで自部署のアプローチを考察していきました。各委員の活動報告の提出率は平均77%でした。

②「年4回のロリハ認定講座の開催」では、脳卒中認定看護師、管理栄養士、歯科衛生士、薬剤師、作業療法士、言語聴覚士が講師となり、座学・実技を講義しました（資料①参照）。2025年は27名が受講修了しました。後期はアンケートを実施し、アンケート結果では（資料②参照）、「よく理解できた」「だいたい理解できた」が約94%、「業務で役に立つ」が100%という結果でした。

③「前・後期に分けて毎月病棟ラウンドを実施」では、全15病棟を4つのグループに分け、1回のラウンドで3～4病棟を昼食の時間帯に訪問し、状況を確認しました。評価内容は、姿勢、口腔ケア、義歯確認、窒息対応といった項目でした。前期と後期に分けて評価し、昨年に比し改善がみられました。今年度の医療安全委員会報告では窒息事例の報告は0件でした。

④「もぐもぐごっくん通信の配信」では、4回の配信を行いました。

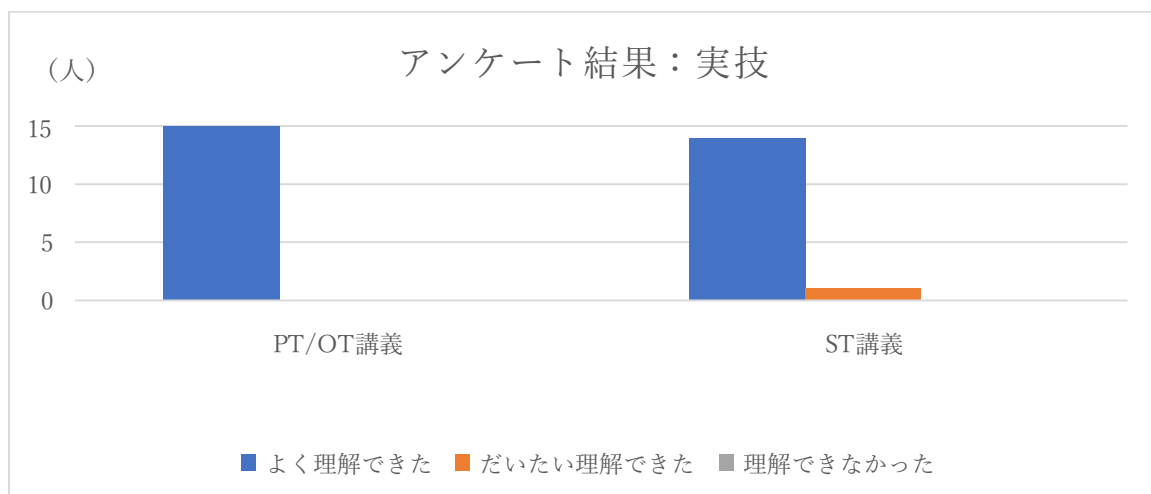
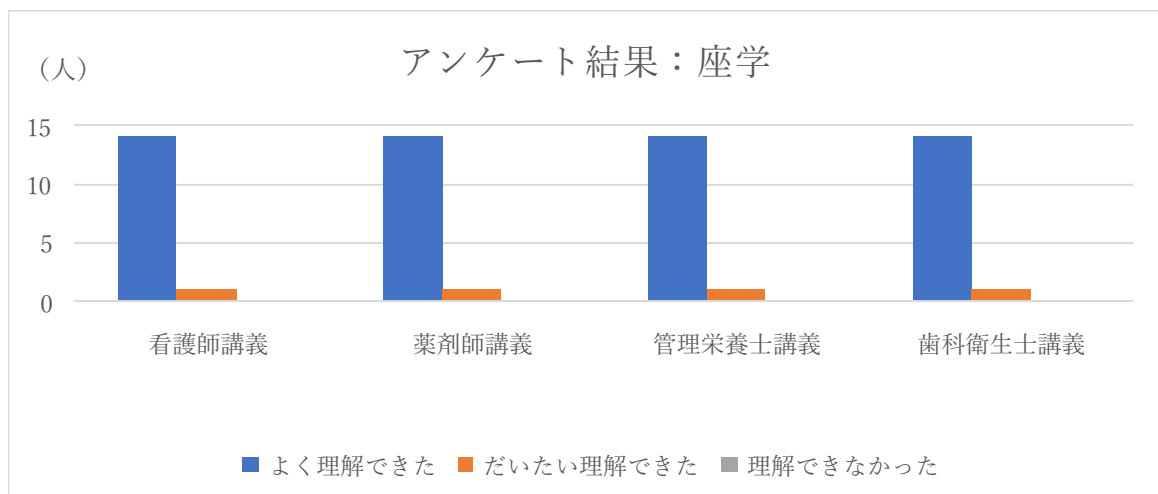
⑤マニュアル一部改訂については、「摂食・嚥下委員会規約」、「口腔ケアの実際とポイント」を改訂しました。

<資料①：ロリハ認定講座の様子>





<資料②：ロリハ認定講座アンケート結果（対象：15名）>



次年度の課題

病棟ラウンドの結果をみると、徐々に改善傾向であり、日々の委員の取り組みや、報告書作成による PDCA 運用の効果と考えます。引き続き、誤嚥・窒息防止を軸に、安全な環境での食事摂取、口腔・咽頭ケア実施による肺炎予防といった取り組みを行っていきます。